



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月31日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 6809 URL <http://www.toa.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉川 隆典
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)田中 利秀 TEL (078)303-5620

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	26,335	(9.2)	2,703	(30.4)	2,788	(25.3)	1,672	(21.1)
19年3月期第3四半期	24,114	(5.8)	2,072	(△14.7)	2,226	(△17.0)	1,381	(△19.8)
19年3月期	34,844		3,641		3,756		2,398	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	48	20	—	—
19年3月期第3四半期	39	79	—	—
19年3月期	69	07	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20年3月期第3四半期	36,647	28,705	76.3	805	85			
19年3月期第3四半期	34,979	26,756	74.5	750	85			
19年3月期	36,611	27,734	73.9	779	36			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
20年3月期第3四半期	2,427	△1,078	△723	10,658				
19年3月期第3四半期	1,180	△335	△780	11,111				
19年3月期	2,263	△2,319	△1,046	10,008				

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期	10	00	10	00	20	00
20年3月期	10	00	—	—	20	00
20年3月期(予想)	—	—	10	00		

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

平成20年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成20年3月期中間決算短信」で公表しております業績予想から変更しておりません。

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	37,600	(7.9)	4,100	(12.6)	4,110	(9.4)	2,560	(6.8)	73	76

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

[注] 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。]

(参考) 個別業績の概況

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	21,020	(7.1)	1,606	(11.3)	1,708	(0.8)	1,063	(△3.1)
19年3月期第3四半期	19,621	(3.9)	1,443	(△12.9)	1,695	(△14.5)	1,097	(△18.1)
19年3月期	28,727		2,763		3,082		2,083	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	30	65	—	—
19年3月期第3四半期	31	61	—	—
19年3月期	60	00	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭
20年3月期第3四半期	29,163	24,502	24,502	84.0	706	11	
19年3月期第3四半期	28,283	23,390	23,390	82.7	673	74	
19年3月期	29,774	24,243	24,243	81.4	698	40	

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

平成20年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成20年3月期中間決算短信」で公表しております業績予想から変更しておりません。

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	30,500	(6.2)	2,950	(6.7)	3,100	(0.6)	1,950	(△6.4)	56	19

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期までのわが国経済は、堅調な企業収益を背景にした設備投資の増加などに支えられ、景気は緩やかな拡大基調を辿っていますが、一方で原油価格高騰の影響や米国経済の減速などにより、先行きに不透明感が残る状況が続いています。

このような状況の下、国内におきましては、競合他社との厳しい価格競争が続いておりますが、好調な民間需要を背景に工場や大型商業施設のリニューアル需要等で伸張しました。

海外においては、ヨーロッパ地域およびアジア地域において需要が拡大傾向にあり、特に中国をはじめベトナム、インドネシア等のアセアン諸国での販売が拡大しました。

この結果、売上高は、26,335百万円（対前年同期比+2,220百万円、9.2%増）となりました。

利益については、売上の増加に加え、海外生産の拡大や国内生産工場での生産性向上に取り組み、営業利益は2,703百万円（対前年同期比+630百万円、30.4%増）、経常利益は2,788百万円（対前年同期比+562百万円、25.3%増）、四半期純利益は1,672百万円（対前年同期比+291百万円、21.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 連結財政状態の変動状況

総資産は、前期末(平成19年3月期)と比較して37百万円増加しました。資産の部の主な増加要因は、受取手形及び売掛金が前期末残の回収が進み減少しましたが、現金及び預金、たな卸資産などが増加したことによるものです。負債及び純資産の部では法人税等の支払や配当の支払などがありましたが、四半期純利益が1,672百万円あったことなどにより増加しました。

(2) 連結キャッシュ・フローの変動状況

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、期首に比べて650百万円増加し10,658百万円となりました。

営業活動による資金の増加は2,427百万円となりました。法人税等の支払による資金の減少1,228百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益が2,788百万円あったこと、前期末の売上債権回収による債権の減少1,868百万円があったことなどにより資金が増加しました。

投資活動による資金の減少は1,078百万円となりました。おもに投資有価証券の取得による資金の減少が499百万円あったこと、海外及び国内生産子会社の生産設備などの取得による資金の減少が326百万円あったことなどによるものです。

財務活動による資金の減少は723百万円となりました。おもに短期借入金の返済による減少63百万円、配当金の支払616百万円などによるものです。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等及び法人税等調整額は、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却の方法)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、当期から、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴い、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、売上総利益が6百万円、営業利益が8百万円、経常利益が8百万円、税金等調整前四半期純利益が8百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当期から、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、売上総利益が7百万円、営業利益が21百万円、経常利益が21百万円、税金等調整前四半期純利益が21百万円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

中間連結財務諸表規則ガイドラインの改正に伴い、前第3四半期連結会計期間まで「現金及び預金」に含めておりました譲渡性預金（600百万円）は、当連結会計期間より流動資産の「有価証券」に含めて表示しております。なお、前第3四半期連結会計期間の譲渡性預金は、1,000百万円であります。

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	11,734		11,179		△555		10,990	
2 受取手形及び売掛金	6,615		6,426		△189		8,282	
3 有価証券	—		600		600		—	
4 たな卸資産	5,875		6,447		572		5,832	
5 その他	1,228		1,019		△209		610	
流動資産合計	25,453	72.8	25,673	70.1	220	0.9	25,716	70.2
II 固定資産								
1 有形固定資産	5,438		6,773		1,335		6,907	
2 無形固定資産	968		933		△35		992	
3 投資その他の資産	3,119		3,266		147		2,995	
固定資産合計	9,525	27.2	10,973	29.9	1,448	15.2	10,894	29.8
資産合計	34,979	100.0	36,647	100.0	1,668	4.8	36,611	100.0
(負債の部)								
I 流動負債								
1 支払手形及び買掛金	3,131		3,271		140		3,521	
2 短期借入金(1年内返済 長期借入金含む)	556		351		△205		432	
3 その他	1,660		1,825		165		2,174	
流動負債合計	5,348	15.3	5,448	14.9	100	1.9	6,128	16.7
II 固定負債								
1 長期借入金	32		9		△23		19	
2 その他	2,842		2,482		△360		2,728	
固定負債合計	2,874	8.2	2,492	6.8	△382	△13.3	2,748	7.5
負債合計	8,222	23.5	7,941	21.7	△281	△3.4	8,876	24.2
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	5,279	15.1	5,279	14.4	—	—	5,279	14.4
2 資本剰余金	6,866	19.6	6,866	18.7	—	—	6,866	18.8
3 利益剰余金	13,800	39.4	15,795	43.1	1,995	14.5	14,817	40.5
4 自己株式	△541	△1.5	△556	△1.5	△15	2.8	△545	△1.5
株主資本合計	25,405	72.6	27,385	74.7	1,980	7.8	26,417	72.2
II 評価・換算差額等								
1 その他有価証券評価 差額金	1,047	3.0	820	2.3	△227	△21.7	919	2.5
2 為替換算調整勘定	△386	△1.1	△242	△0.7	144	△37.3	△283	△0.8
評価・換算差額等合計	661	1.9	577	1.6	△84	△12.7	635	1.7
III 少数株主持分	689	2.0	742	2.0	53	7.7	681	1.9
純資産合計	26,756	76.5	28,705	78.3	1,949	7.3	27,734	75.8
負債及び純資産合計	34,979	100.0	36,647	100.0	1,668	4.8	36,611	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
I 売上高	24,114	100.0	26,335	100.0	2,220	9.2	34,844	100.0
II 売上原価	12,485	51.8	13,477	51.2	992	7.9	18,138	52.1
売上総利益	11,629	48.2	12,857	48.8	1,228	10.6	16,706	47.9
III 販売費及び一般管理費	9,556	39.6	10,154	38.5	598	6.3	13,064	37.4
営業利益	2,072	8.6	2,703	10.3	630	30.4	3,641	10.5
IV 営業外収益	195	0.8	160	0.6	△35	△17.9	184	0.5
V 営業外費用	42	0.2	74	0.3	32	76.2	69	0.2
経常利益	2,226	9.2	2,788	10.6	562	25.3	3,756	10.7
VI 特別利益								
1 固定資産売却益	16		—		△16		17	
2 投資有価証券売却益	32		—		△32		32	
3 貸倒引当金戻入益	—		—		—		76	
特別利益合計	48	0.2	—	—	△48	—	127	0.4
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,275	9.4	2,788	10.6	513	22.5	3,883	11.1
法人税等及び 法人税等調整額	848	3.5	1,059	4.0	211	24.9	1,441	4.1
少数株主利益	45	0.2	56	0.2	11	24.4	43	0.1
四半期(当期)純利益	1,381	5.7	1,672	6.4	291	21.1	2,398	6.9

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	2,275	2,788	3,883
2 減価償却費	571	579	789
3 投資有価証券売却益	△32	—	△32
4 固定資産売却益	△16	—	△17
5 売上債権の増減額(△は増加額)	1,514	1,868	△115
6 たな卸資産の増加額	△513	△614	△404
7 仕入債務の減少額	△396	△256	△33
8 その他	△882	△759	△286
小計	2,519	3,605	3,783
9 法人税等の支払額	△1,358	△1,228	△1,546
10 その他	19	51	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,180	2,427	2,263
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金等の預入による支出	△172	△290	△527
2 定期預金等の払戻による収入	31	136	32
3 投資有価証券の取得による支出	△491	△802	△983
4 投資有価証券の売却による収入	544	302	1,037
5 有形固定資産等の取得による支出	△230	△326	△1,843
6 有形固定資産等の売却による収入	17	3	18
7 無形固定資産の取得による支出	△19	△92	△36
8 その他	△13	△9	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335	△1,078	△2,319
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純減少額	△78	△63	△210
2 長期借入金の返済による支出	△19	△18	△32
3 自己株式の取得による支出	△10	△12	△13
4 配当金の支払額	△678	△616	△762
5 少数株主への株式の発行による収入	52	42	52
6 少数株主への配当金の支払額	△26	△32	△43
7 その他	△19	△23	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△780	△723	△1,046
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	78	23	143
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	144	650	△959
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,967	10,008	10,967
VII 現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	11,111	10,658	10,008

(注) 現金及び現金同等物の残高と(要約)四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前年同四半期 (平成19年3月期第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年3月期)
区分	金額	金額	金額
連結財務諸表の現金及び預金	11,734	11,179	10,990
譲渡性預金(有価証券勘定)	—	600	—
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△622	△1,120	△982
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	11,111	10,658	10,008

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

	音響 セグメント (百万円)	セキュリティ セグメント (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	18,585	5,166	363	24,114	—	24,114
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14	14	(14)	—
計	18,585	5,166	377	24,129	(14)	24,114
営業費用	15,234	4,592	389	20,216	1,825	22,041
営業利益又は営業損失(△)	3,350	573	△11	3,912	(1,839)	2,072

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

	音響 セグメント (百万円)	セキュリティ セグメント (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	20,247	5,786	301	26,335	—	26,335
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14	14	(14)	—
計	20,247	5,786	315	26,349	(14)	26,335
営業費用	16,404	4,831	345	21,581	2,049	23,631
営業利益又は営業損失(△)	3,843	954	△30	4,767	(2,064)	2,703

(参考)前期(平成19年3月期)

	音響 セグメント (百万円)	セキュリティ セグメント (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	26,708	7,658	477	34,844	—	34,844
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19	19	(19)	—
計	26,708	7,658	497	34,863	(19)	34,844
営業費用	21,680	6,546	493	28,720	2,482	31,202
営業利益	5,028	1,111	3	6,143	(2,501)	3,641

- (注) 1 セグメントの区分は製品、サービスの種類等の類似性によっております。
- 2 各区分の主な製品、サービス
- (1) 音響セグメント……………拡声放送機器、プロサウンド機器、通信機器
- (2) セキュリティセグメント……映像機器
- (3) その他……………音ソフト制作、消音他
- 3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、主に当社の管理部門に係る費用であり、金額は以下のとおりであります。
- | | |
|---------|----------|
| 前年同四半期 | 1,839百万円 |
| 当四半期 | 2,064百万円 |
| (参考) 前期 | 2,501百万円 |
- 4 会計方針の変更
- 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、当期から、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
- これに伴い、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、営業利益が8百万円減少しております。この変更に伴う各セグメントへ与える影響は、軽微であります。
- 5 追加情報
- 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当期から、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。
- 当該変更に伴う損益に与える影響は、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、営業利益が21百万円減少しております。この変更に伴う各セグメントへ与える影響は、軽微であります。

〔所在地別セグメント情報〕

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,131	2,302	3,127	2,552	24,114	—	24,114
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,042	3	23	4,407	8,477	(8,477)	—
計	20,174	2,306	3,151	6,960	32,592	(8,477)	24,114
営業費用	16,846	2,243	2,893	6,701	28,686	(6,644)	22,041
営業利益	3,327	62	257	258	3,906	(1,833)	2,072

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,177	2,518	3,612	3,026	26,335	—	26,335
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,516	2	19	5,126	9,665	(9,665)	—
計	21,694	2,521	3,632	8,152	36,001	(9,665)	26,335
営業費用	17,776	2,413	3,281	7,762	31,234	(7,602)	23,631
営業利益	3,917	107	351	390	4,766	(2,063)	2,703

(参考)前期(平成19年3月期)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	23,937	3,138	4,224	3,544	34,844	—	34,844
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,645	4	30	5,742	11,422	(11,422)	—
計	29,583	3,142	4,254	9,287	46,267	(11,422)	34,844
営業費用	24,093	3,037	3,956	8,988	40,077	(8,874)	31,202
営業利益	5,489	104	297	298	6,190	(2,548)	3,641

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ・カナダ

(2) 欧州……………ドイツ・イギリス・フランス

(3) アジア……………台湾・香港・インドネシア・ベトナム・シンガポール・中国

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、主に当社の管理部門に係る費用であり、金額は以下のとおりであります。

前年同四半期 1,839百万円

当四半期 2,064百万円

(参考) 前期 2,501百万円

4 会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、当期から、平成19年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴い、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、営業利益が8百万円減少しております。

この変更により前年同期と同一の方法によった場合と比べ、日本地域セグメントの営業費用が3百万円増加し、営業利益は同額減少しております。なお、その他の各地域セグメントへ与える影響は軽微であります。

5 追加情報

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当期から、平成19年3月31日以前に取得した資産については、改正前の法人税法に基づく減価償却の方法の適用により取得価額の5%に到達した連結会計年度の翌連結会計年度より、取得価額の5%相当額と備忘価額との差額を5年間にわたり均等償却し、減価償却費に含めて計上しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は、前年同期と同一の方法によった場合と比べ、営業利益が21百万円減少しております。

この変更により前年同期と同一の方法によった場合と比べ、日本地域セグメントの営業費用が18百万円増加し、営業利益は同額減少しております。なお、その他の各地域セグメントへ与える影響は軽微であります。

〔海外売上高〕

前年同四半期(平成19年3月期第3四半期)

	北米・中南米	欧州・中近東	アジア・ オセアニア	計
I 海外売上高(百万円)	2,508	3,176	2,786	8,471
II 連結売上高(百万円)				24,114
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.4	13.2	11.6	35.1

当四半期(平成20年3月期第3四半期)

	北米・中南米	欧州・中近東	アジア・ オセアニア	計
I 海外売上高(百万円)	2,676	3,667	3,202	9,546
II 連結売上高(百万円)				26,335
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.2	13.9	12.2	36.2

(参考)前期(平成19年3月期)

	北米・中南米	欧州・中近東	アジア・ オセアニア	計
I 海外売上高(百万円)	3,410	4,260	3,900	11,572
II 連結売上高(百万円)				34,844
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.8	12.2	11.2	33.2

- (注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度及び事業活動の相互関連性によっております。
- 2 各区分に属する主な国又は地域
- (1) 北米・中南米……………アメリカ、カナダ、中南米地域
- (2) 欧州・中近東……………ドイツ・イギリス他欧州地域、中近東・アフリカ地域
- (3) アジア・オセアニア……………台湾・中国・香港他アジア地域、オセアニア地域
- 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。